

~高校生×声優 福祉の朗読劇~

報告書



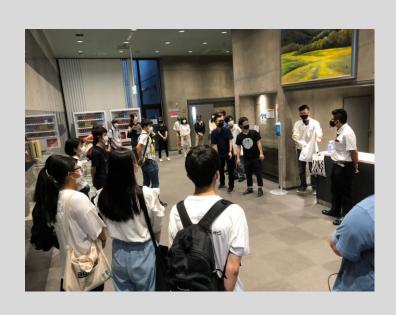
制作 特定非営利活動法人 チーム響き

―― イベント概要 ――

- 名称 絆の糸~高校生×声優 福祉の朗読劇~
- ・日時 2021年8月1日 (6月6日より延期) 13時~15時
- ・会場 岡山オルガホール
- ・概要 声優×高校生による朗読劇 福祉や教育をテーマにしたトークショー
- ・目的 多くの人に福祉や障がいについて知ってもらう 障がいのある方の夢を叶える 高校生たちに自信を持って大人になってもらう 高校生たちの思い出の一つになる
- ・主催 特定非営利活動法人 チーム響き
- ・助成 クラウドファンディング支援者の皆様 公益財団法人 大和証券福祉財団 公益財団法人 大阪コミュニティ財団 公益財団法人 福武教育文化振興財団

当日参加者 74名

当日ボランティア数 34名 学校部活動・課外活動 4校 学習塾 有志ボランティア 1校 学生団体 1団体 他 有志学生 社会人ボランティア





――目標の達成度について――

イベント概要で記述している4つの目標について自己採点と今後にどの様に目標 に近づいたか、今後についてなどをまとめてみました。

目標 自己評価点(10点満点)

・多くの人に福祉や障がいについて知ってもらう(6/10点中)

声優×高校生と共に福祉の朗読劇を行う事で初めてチーム響きに来られる方が多かったので、この目標に少し近づけたのではないかなと考えております。しかし、朗読劇とトークショーのみで思いやりの気持ちを知ってもらう事や思いが伝わっているのかは判断材料がなく用意しておくべきでした。

しかし、多くの方に白血病の朗読劇を通して少しでも思いを伝えられていると思ったので 6 点と自己分析を行いました。

今後は、朗読劇以外の方法でも多くの方に福祉や障がいについて伝えられる方法がないか模索していきます。

・障がいのある方の夢を叶える(7/10点中)

朗読劇が始まる前に普段は福祉事業所に通われていて声優になりたいという夢を持っている20才男性の方と各声優さんとで面談を行い「声優になって良かったこと」や「声優のなり方」等を15分程度、質疑応答を行いました。この時の男性の顔はとても嬉しそうにしていて本当にこの場を作って良かったと思っています。また、このイベントを作るうえでのきっかけになった方等も当日は来られることが出来て笑顔で帰宅されました。沢山の方の夢を叶えられたり夢に近づけれたりして良かったです。

次回行う時は、もっと多くの事業所などに声をかけたり等、広報方法を工夫する事がしていきます。

・高校生たちに自信を持って大人になってもらう(8.1/10点中)

こちらは高校生たちに点数をつけて頂きその平均点を出して点数をつけています。演者の皆様は直接、声優さんと共に演技をして頂いて自身に大きく繋がった等のコメントを頂きましたが裏方のボランティアの皆様は自信よりも思い出になった部分が強かった印象でした。次回は裏方のボランティアの方で希望する方にもっと活躍の場面を用意したいと思います。

高校生たちの思い出の一つになる(9.5/10点中)

とても多くの学生さんが10点をつけてくれていました。朗読劇が思い出に残った人。交流が印象に残った 人等、アンケートの回答は様々でしたが多くの方の思い出になってくれて本当に良かったです。

次回は運営の方で最初の段階から高校生の方に準備などを手伝って頂き、今年よりも強固なチームで朗読 劇を行っていこうと考えています。今後も高校生だからこそ出来る事をしっかりとやっていき楽しく思い出 になるイベントになるように取り組んでいきます。

イベントのきっかけ

本イベントを具体化するにあたってまず、一番に思い出した言葉が2010年の「声優に会いたい!」という全盲A君の強い想いからでした。当時はただの夢物語りでしたが、2018年にチーム響きをNPO法人にすると決めた時に本事業を本格的に取り組んでいく事を決意しました。

そしてもう一つイベントの実現に向けて大きく影響したのが高校生Bさんの存在でした。Bさんは病気が原因で中々家から出る事が出来ず、学校にも通う事が出来ませんでした。Bさんの目標は家から徒歩5分圏内にある地元のレンタルDVDショップで好きなアニメDVDを借りる事。しかし、その目標が中々実現出来ませんでした。一年ぐらい経ったある日、「一人で電車に乗って岡山駅近くのアニメイトまで行けた!」と元気な声で報告してくれました。彼女はその後、少しずつ学校にも行けるようになり徐々に元気になって行きました。チーム響き理事長は「アニメにはきっと凄い力がある!」と思い、彼らの原動力がアニメにある事がとても不思議に思いました。

チーム響きのイベントや相談に来たことのある発達・視覚障がいの利用者の7割以上(30人中23人)の方がアニメーション・ドラマを始めとするテレビ番組がとても好きで、それが通学、通勤意欲に繋がっています。そんな利用者の方々の夢は「声優のイベントに参加する事」。しかし、重い障がいを抱えていると身体的、精神的にしんどく、県外に出て行けない、行けても次の日から一週間ほど寝込んでしまう方などもいます。しかし、岡山県では声優のイベントはほとんど開催されていません。

そこで、本イベントを開催することで「一般の方に広く障がいについて知ってもらいたい」というチーム響きの想いと「夢を叶えたい」という障がい者側の想いが重なった事により本イベントを企画致しました。本イベントを行うことにより、少しでも多くの方に「福祉について」の理解を深めて頂けたらと考えています。

高校生と共に行うイベント

本イベントは出演者・裏方スタッフ合わせて計34名の高校生・大学生に協力して頂きました。

設営や当日の受付を高校生ボランティアにお願いする事でパワーをもらい運営スタッフも明るくイベントに取り組む事が出来るイベントになりました。

また、出演者のうち声優以外ほとんどの役を岡山後楽館高等学校 演劇部の生徒さんが演じてくれました。演劇部の皆様は約一年かけて役作りや演出等々、本当にイベントの軸として活動して頂きました。

学生と共に作るイベントという事で二人三脚でやっていくのは、大変な事も多かったですが一体感が生まれて楽しい事も多くあり、またスタッフ側が高校生に今の流行や面白い話などを教えてもらいそれを劇の台本や運営上活躍した機会も多くありました。

設営や受付をやって頂いた高校生達は当日、他校の生徒と関わることが多くあったためその場で仲良くなって交流を深めたりなど、チーム響きが通常のイベントで目指している事を実現することが出来て非常に嬉しかったです。

また、朗読劇を一緒に行った演劇部の皆様はもちろん、それを見ていた運営ボランティアさんもプロの 声優さん達の演技にとても刺激を受けた様子で「とても感動して泣いてしまいました。自分も何か今後取 り組みたいです。」と終わった後に言って頂きました。

「来てよかった」「ボランティアを始めて楽しく感じた。こういうボランティアなら沢山出て行きたい」 と言ってくれることが多く学生さんたちと共にイベントをする事が出来て本当に良かったです。

新型コロナウイルスについて

6月6日に行われる予定だった「絆の糸」ですが、開催県である岡山県に緊急事態宣言が出たため、8月1日へ延期しました。この影響で様々な所にご迷惑をおかけし大変申し訳ありません。

2年連続の延期という事もあり、スタッフも生徒もとても残念ではありましたが、8月のイベントでは初めて沢山の来場者の方の顔を見ることが出来てスタッフ・演者共にとても嬉しく感じております。しかし、緊急事態宣言の影響で来場が困難な参加者様もおられたため、延期直前に映像で残すことを決定いたしました。このような状況だからこそ私たちの小さな活動を多くの方に伝えていきたいと考えています。

また、当日の感染対策もしっかり行いマスク・アルコールの使用は勿論、時間を分けての黙食やスタッフの前日までの検温、新型コロナウイルス感染者が岡山県で増えたため急遽、席の数も30席ほど減らし定員の3分のIまで参加者数を落としたり、置き型体温計の導入を行いました。

この時期に有観客での開催という事で賛否両論あると思いますが学生の皆様と声優の皆様、多くの方にご協力頂いて作り上げたイベントを有観客でお届けするという決断をして良かったと考えています。

――イベントの各シーン感想――



前説

開場前のチーム響きの簡単な紹介や注意事項の説明の時にせっかくなので参加者様に「楽しんで前説を聞いて欲しい」という思いからお笑いを取り入れた前説を行いました。

左の写真は録音録画の注意の時に理事長が自らカメラを被り裏でスタッフにアテレコしてもらいながら変なダンスを行いました。

会場の方や演者の方に笑って頂けたのでとても安心しました。

朗読劇

高校生とは思えない演技力で白血病がテーマの本劇をとて も力強く演じて頂きました。後楽館高等学校 演劇部さん の協力により本当に良い劇にする事が出来ました。

プロの声優さん方の演技はとても迫力があり心に訴えかけてくるものがありました。阿部はスタッフ席で成功を祈る様に手を合わせて劇を中々、直視出来なかったのですが、西宮 優子(CV 門脇 舞以さん)と間宮 姫(CV 後楽館 演劇部生徒)が喧嘩をするシーンでは劇に引き込まれ、お恥ずかしながら涙してしまいました。

優子を支える立ち位置の山本 幸子(CV 中津 真莉さん)の明るく力強い演技は見ているとこちらを暖かくしてもらう事が出来ました。本当に高校生の幸子がそこにいて元気に走り回っている印象でした。

当日まで役の立ち位置をシークレットにしていた本庄理子(CV 力丸 乃りこさん)は優子の憧れの声優として出演して頂きました。全て包み込んでくれるような優しい演技では、とても安心することが出来て大人としての立ち位置から優子を支えてくれたキャラクターでした。暖かく可愛い雰囲気の理子を力丸さんにお願いして本当に良かったです。

医者役は真面目なシーンとお笑い要素の強いシーンとで様々な演技を求められた役でしたが、その場面に合わせた 役作りをしていて面白いキャラクターにすることが出来ま した。

兄役は優しい一面と不気味な一面を見せるという本当に 難しい役でした。嘔吐のシーンは練習でも苦労していて 中々、難しい場面でしたが本番ではとてもうまく二つの面 を演じ上げて頂きました。

他の演者の皆様もしっかりと自分の演技を当日してくれて少ない出番の役の方も記憶に残る演技をしてくれました。 本当に演劇部の皆様に支えて頂いた朗読劇でした。

去年の反省を活かして音響や照明を業者の方にお願いして取り組んだ事や背景に静止画を加えた事で「場面のイメージをしやすくなった」という感想を頂きました。

当日しか直接声優の皆様と一緒に練習する時間が無かったのですがリハーサルの時からより進化して本番を迎えることが出来ました。長い期間精一杯練習を重ねてきた演劇部生徒たちの力だと思っています。

本当に演者の皆様ありがとうございました。









| I call your name again | page | p

歌唱

去年は新型コロナウイルスの影響でDVDのみの販売という選択をしたため、参加者の皆様には大変ご迷惑をおかけしました。「必ず、直接歌を皆様にお届けします。」という去年の約束を叶えることが出来て本当に良かったです。

山本 幸子役の中津 真莉さんに劇後「I call your name again」を歌唱して頂きました。

また、「中津さんに何かの形でお返ししたい、参加者の皆様にも何かの形で参加してもらいたい」と考えていた阿部は、当日サイリウムを用意して参加者の皆様にサプライズで振って頂きました。

(こちらは、サプライズをしたかったため、一部のスタッフしか知らない極秘企画でした。)

サイリウムの色に関してですが、白色というのを去年のイベントからご協力頂いている中津 真莉さんのファンの方(二名)にご意見をお聞きして決定させて頂きました。

(お二人とも白というご回答を頂きました。この歌が流れたアニメのシーンでは、奇麗な雪が降っておりこの回の放送日は関東地方で雪が降っていたそうです。)

そのため、演出も季節に合うか不安でしたが、雪を選択させて頂きました。

多くの方に歌をお届けすることが出来て本当に良かったです。 また、初めて声優さんの歌を見られた方も多くて「声優さんがこん なに歌が上手いのを初めて知った」や「この歌で声優さんに興味を 持てた」等、今まで声優について深く知らなかった方にも新しい魅 力を伝えれる事が出来て嬉しかったです。







トークショー

アニメが福祉や教育の役に立つことという観点から様々な切り口でトークをさせて頂きました。夢を叶えられた声優の皆様は「夢を叶えるためには気持ちが重要、そしてどんな経験でもきっと自分の夢の役に立つ」という事をお話しして頂きました。

他にも、アニメコンテンツは日本が誇る文化のため、このコンテンツを活かして多くの方に福祉について伝えていけれる可能性や障がいのある方がどれだけアニメコンテンツに助けられているか等お話することが出来ました。

プロの声優さんが伝えてくださる言葉一つ一つが私自身にも刺さりこれからも頑張っていきたいと改めて思うことが出来ました。また、多くの学生にも学ぶことが多かった様でボランティアの方が「学べることが沢山ありました。」と感想を頂くことが出来ました。

時間の関係上、福祉ゲームが出来なかったため時間配分についてはもう少し、劇のスタートを早めたら良かったと思うため次へ活かしていきたいです。

声優の方が3名おられたため今年は別々の観点から朗読劇の意見をもらうことが出来てより充実したトークショーを届ける事が出来たと思っています。

次回行う時はトークショーのメンバーに学生を交えて話が出来ると更に様々な観点から福祉と教育について話が出来るのではないかと考えています。

――ご出演いただいた声優さんからのコメント――

度重なる延期の末の開催となりましたが、

感染対策など最大限のご配慮を賜り、穏やかな心で本番に向かう 事が叶いました。

何より、ご共演いただきました後楽館高校演劇部の皆様から伝わる緊張感、熱意、柔軟さ、

その全てが大変に眩く、多くの方の心に寄り添う舞台を作り上げる事が出来たと確信しております。

岡山は、祖父母との想い出が詰まった大切な場所です。再び訪れることができ幸せでした。

この度はかけがえのない機会を本当に有難うございました。

西宮 優子 役 門脇 舞以





朗読劇にて私の演じます山本幸子は、

前回「幸ある道」では怪我をして障がいと向き合う当事者側。今回「絆の糸」では病気をサポートする側。

当事者も大変ですが、サポートする側も元気でいることはとても 大変で大切なこと。山本幸子のまっすぐな想いとパワフルな行動 力に私も強く共感しながら演じさせて頂きました。

「笑顔でいることが難しい中でも笑顔でいることの大切さを!」 朗読劇ならではの面白さを通して、共演者の皆さんのおもいと私 の分身のような存在の山本幸子のおもいと共に、観てくださる皆 さまへお届けできていれば幸いです。

イベントに関わって下さったすべての関係者の皆さま心からありがとうございました。 たくさんのハートある最高のイベントでした。

山本 幸子 役 中津 真莉

――ボランティア・参加者の方からのコメント――

ボランティア、場の雰囲気が明るく皆さん親切でとても動きやすかったです。業務説明の後に皆で自己紹介をする機会を設けてくださったことが大きかったと思われます!

今までボランティアは淡々と仕事をこなすイメージがあり参加してこなかったのですが、今回のボランティアかなりイメージが変わりました...!

今回のように楽しくコミュニティーを広げることができるボランティアには今後も積極的に参加いたしたく存じます。あらためまして、お声がけいただき本当にありがとうございました。 高校生ボランティア

今まで演劇などに興味が無かったのですがこの朗読劇を見て興味がわきました。 参加者 福祉関係者

歌が滅茶苦茶良かったです。是非、次回は歌のパートを増やして欲しいです。 参加者

色んな人と関われて、声優さんのトークショーで高校生へのメッセージをもらえて嬉しかったです! ボランティアは、すごくあっという間で周りの方々も素敵な人達で今回のボランティアに参加できて良かったです(3)

本当にありがとうございました!!! 高校生ボランティア

とても楽しく参加させて頂きました。貴重な体験をありがとうございました。 大学生ボランティア

次回は日常の朗読劇を見てみたい。 来賓 福祉関係者

皆とても頑張っていた。次回はもっと人を頼ったらいいと思います。 社会人ボランティア

最初からずっと泣きっぱなしでした。 来賓

クオリティーの高い劇を見ることが出来ました。ありがとうございました。 参加者

――イベントを通して出た課題と解決案――

・物品受け渡しミス

ボランティアに各チームまで書類や文具等の受け渡しや伝達をお願いした際に、上手く伝わっていないというミスがありました。

→基本的に物の受渡しのミスは個人のボランティアに任せたのが原因でした。この部分はボランティアスタッフ2、3人のチームで動いてもらう事や運営側に仕事やタスクを管理するスタッフ配置を行う等して対策していきたいです。

・連絡手段の混雑トラブル

当日はインカムを使用して連絡を行っていました。連絡が重複するなどのトラブルもありました。 →インカムを持つ人数を今回は10名程度でしたがもう少し絞って少人数での連絡網を行う事や連 絡役として一人人員確保をする等で対応すれば良かったです。

演者やスタッフのモチベーション維持の問題

長期間の準備期間があったため演者を始め裏方スタッフのモチベーション維持に課題がうまれました。

→1週間ごとに目標を設定したり、集まれる機会を増やしたり個別ミーティングなどを通じて目標確認などを行っていく事でモチベーション維持に繋げられたと思いました。次からは実践していきたいと考えています。

細かいリーダーを付ける

各作業でリーダー的なスタッフを置いていたのですが、指示系統が一カ所に集中するというトラブルが起きました。

→各チームリーダーの作業をもう少し具体的にリストにしたり、自分のチームリーダーは誰なの かを詳細に伝える。また、リーダーのまとめ役の様なスタッフ配置も次回から必要だと思いました。

確認ミス

各作業中に誤字や発注ミスなどが多くあり修正箇所が多くありました。

→当たり前なのですが、確認スタッフを置いておくことがとても重要でした。いまだに見つかっていないため普段の業務でも改善しないといけない点ですので、至急見つけたいと考えています。

・作業の分担

多くの作業を特定のスタッフが負担をしていた事もあり、そのスタッフがいないと前に進まなかったり作業負担が多くありました。

→運営メンバーも少なかったため、次回はやりたい人をもっと多く集めてチーム作業でやっていきたいと考えています。

他にも多くの改善点や反省点があると思います。今回の経験で学んだ事を活かして今後のイベントや事業に活かしていきます。

――運営スタッフ紹介――

• 受付責任者 勝俣 将樹



前日までマニュアルの作成や運営のアドバイス 当日は受付の責任者として受付ボランティアを まとめたり受付ブースをまとめてました。 受付ボランティアの高校生はとても仲良くなり 皆、楽しそうにされていました。

・全体サポート 迫田 和浩



前日まで代表の情報整理やアドバイスを行っていました。他にも様々なサポートを行いました。 当日は、代表のサポートや急な買い出し幕間時 に切り替えの連絡などを行いました。

•全体責任者 阿部 磨呂



前日まで各調整や脚本、映像などを担当しました。

当日は司会進行や責任者として様々な判断を行いました。

・背景操作・全体サポート 中野 葉月



前日まで返礼品の郵送や会計処理・パワーポイント作りなどを行いました。

当日は設営のサポートや本番背景の操作をして いました。

・設営責任者・全体サポート 仁科 彰人



前日までは主に連絡回しや移動のサポートを行いました。

当日は劇場の幕の操作やDVD収録時のためのチェック。他にも介助などを行っていました。

・演者サポート 神門 佑弥



前日まで演者と一緒にどうやって劇を盛り上げるか考えたり一緒に劇を作りました。

当日は響き唯一の演者として演劇部の方と一緒に劇を盛り上げました。

——代表挨拶——

このイベントに様々な形で関わって頂いた全ての皆様。本当にご協力ありがとうございました。

まずは、本イベントを無事に終える事が出来てとても嬉しく思っています。また、終わった日は安心して中々、眠ることが出来ませんでした。私は、全体責任者と脚本、映像関係、背景等を担当したのですが、自分自身上手く行った点や皆様にご迷惑をおかけした点があり、自分自身もっと成長して行きたいと思いました。



NPO法人チーム響き 理事長 阿部 磨呂

脚本、映像等は多くの方に好評でとても嬉しく思っています。この劇を通して少しでも多くの方に「福祉や障がいについて」考えてもらえたら嬉しいです。また、岡山にこんな楽しい団体があるという事を知って頂けると幸いです。

イベント終了後、直接やTwitter等で多くの方に「3回目も是非、して欲しい」というお声を頂きました。本当にありがとうございます。3回目が出来るか現在、様々な観点から検討している段階ですが、僕自身は、時間がかかってもいつか皆様にまた朗読劇を届けたいと考えています。

朗読劇は本当に感動してこのメンバーと作り上げる事が出来て良かったと心の底から思いました。 運営面は課題も様々な個所にありますが、幸いにも大きなミスやトラブルが無くて良かったです。こ の課題を活かしつつ次のイベントや次回の朗読劇に繋げていきたいと思います。

また、多くの方に支えられたイベントでした。出演してくれた岡山後楽館高等学校 演劇部の皆様は勿論、裏方で頑張ってくれた高校生や大学生の皆様。日頃の活動で大変お世話になっている福祉関係の皆様。そしてこの朗読劇の原点である山本 幸子というキャラクター名を頂いた方や普段、チーム響きのイベントに参加してくださっている皆様。久しぶりに連絡をして応援メッセージをくれた方等、本当に多くの方に支えられたイベントでした。

僕自身、準備期間中に何度か体調を崩した時にスタッフの方や周りの方に支えられてこのイベントを乗り切ることが出来ました。特に困った時に悩みだけでなく様々な事を手伝ってくれたボランティアの皆様には感謝の気持ちでいっぱいです。

朗読劇を一緒に取り組んできた後楽館 演劇部の生徒さんはいつも一生懸命練習に取り組んでくれて朗読劇について分からない事が多い僕自身に「こういう演出が良い」「OPやEDはこのタイミングが良い」と様々な事を教えてくれた演劇部の皆様や顧問の先生に教えてもらいながら一緒に作っていく事が出来ました。当日、音響をしてくれた生徒さんや役者の方を案内してくれた生徒さんなど演劇部の生徒さんには裏方も手伝って頂きました。本当に後楽館高等学校 演劇部の皆様と一緒に朗読劇を作ることが出来て良かったです。

設営や受付も高校生・大学生のボランティアさんが中心でイベントを運営してくれました。受付チームは休憩時間にディスカッションなどを取り入れて他校の生徒お同士の交流などもありチーム全体とても仲が良さそうにしていました。

設営は100個近いペンライトに電池を入れたり等やることがとても多く設営が始まったタイミングで時間内に終わるか不安な部分もありましたが予定よりも作業が早く終わりとても助かりました。

また、介助ボランティアの方は介助を必要とされる方と楽しくコミュニケーションをとってくれて 全体的に明るい雰囲気でした。多くの高校生にご協力頂いて本当に助かりました。

このイベントを通して参加してくれた皆様には是非、思いやりの気持ちや高校生などの頑張りを知ってもらって生活の中で「あぁ、そういえば岡山にこんな団体もあったなぁ。自分も何か困っている人が居たら少し声をかけてみよう」という風に思い出してくれると嬉しいです。

ご支援・ご参加いただいた全ての皆様、声優の門脇 舞以様、中津 真莉様、力丸 乃りこ様、ボランティア・スタッフの皆様、岡山後楽館高等学校 演劇部の皆様

本当にありがとうございました。

——活動日時——

後楽館 高等学校 演劇部との合同練習日

	日付	時間	説明
2020	10月15日	16~18	脚本完成
	11月5日	16~18	
	11月12日	16~19	
	12月10日	16~18	
	12月18日	16~18	
2021	1月10日	9~17	役者オーディション
	2月4日	16~18:30	
	3月4日	9~17	
	4月18日	9~17	リモート練習
	4月22日	16~18	
	5月9日	9~12	
	5月18日	9~17	リモート練習
	7月22日	9~13	
	7月31日	14~18	前日リハーサル









